

糸魚川総合病院



所在地

新潟県糸魚川市竹ヶ花457番地 1

TEL

025-552-0280

ホームページ

<http://www.itoigawa-hp.jp/>

標榜診療科目

内科・循環器内科・消化器内科・外科・呼吸器外科・心血管外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・精神科・小児科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・救急科・歯科

病床数

261床

医師数

常勤：31人 非常勤：8.0人（2020年4月1日現在）

患者数

入院（R1年度）年間延べ患者数 82,887人 1日平均患者数 226人

外来（R1年度）年間延べ患者数 149,704人 1日平均患者数 618人

病院の特徴等

糸魚川総合病院は糸魚川市で唯一の総合病院です。地域の診療所や福祉施設と協力して地域住民の健康と福祉、保健活動を行っており、多くの紹介患者を受け入れるとともに、市内で発生する救急件数の約9割は当院へ搬送され、この半ば隔絶された地域において2.5次までの医療を精力的に地域住民に提供しています。領域は小児から高齢者までのあらゆる世代に及び、しかも高齢化率が36%という高齢化地域であるために複数の疾患を併せ持つ患者を診療することが多く、総合診療医は、この地域にはなくてはならない存在です。研修に当たっては、「はつらつ健康都市」を提唱している糸魚川市、そこに居住する地域住民、JAひすいを含む各種団体、ボランティアや当院の全職員等の理解と協力のもとで研修できる環境を整えています。

アピールポイント

- ・内科においては、消化器、循環器、腎臓、代謝などの診療グループを持ち、地域への専門医療を提供
- ・小児科においては、乳幼児健診、予防接種、幅広い外来診療、病棟診療を提供
- ・救急部門においては、重度外傷への救急医療からER救急まで幅広い救急医療を提供している。

施設等の紹介

災害拠点病院

へき地中核病院

介護老人保健施設併設

総合診療専門研修プログラム

■ 研修概要

本研修プログラムでは、①総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、②総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、③内科、④小児科、⑤救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。このことにより、1. 包括的統合アプローチ、2. 一般的な健康問題に対する診療能力、3. 患者中心の医療・ケア、4. 連携重視のマネジメント、5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、6. 公益に資する職業規範、7. 多様な診療の場に対応する能力という総合診療医に欠かせない7つの資質・能力を効果的に習得することが可能になります。

本研修プログラムは専門研修基幹施設（以下、基幹施設）と専門研修連携施設（以下、連携施設）の施設群で行われ、それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことができます。

■ アピールポイント

- 糸魚川という過疎地に密着したプログラムで、全ての研修を糸魚川で行うことが可能です。
- 充実した初期臨床研修に引き続き総合診療を学ぶことができます。

■ 特色

- 糸魚川市唯一の総合病院、地域救急センターを有し、災害拠点病院、へき地中核病院の指定を受け、広汎な初期から2.5次までの救急医療や高度な医療を提供している。また、全国の総合診療医による定期的な教育プログラムが組まれている。
- 総合診療科においては、幅広い疾患に対する初診を中心とした外来診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する病棟診療、救急部門と連携した初期救急などを提供している。
- 日本プライマリ・ケア連合学会の新・家庭医療専門医の研修も同時に行うことが可能である（4年間で取得可能）。

指導医からのメッセージ

糸魚川地域に密着して専攻医を育てます。地域住民と共に医療のみならず、地域づくりを行いましょう。

■ 連携施設の病院名

糸魚川市能生国民健康保険診療所・県立柿崎病院・厚生連けいなん総合病院・あがの市民病院・県立中央病院

研修期間 3年

2022年度募集人数 2名

選考方法 面接

プログラム責任者 診療部長 松木 晃

■ 研修コース

①基本コース

総合診療専門研修は、卒後3年目からの専門研修（後期研修）3年間で構成されます。

- 1年次修了時には、患者の情報を過不足なく明確に指導医や関連職種に報告し、健康問題を迅速かつ正確に同定すること目標とします。主たる研修の場は内科研修となります。
- 2年次修了時には、診断や治療プロセスも標準的で患者を取り巻く背景も安定しているような比較的単純な健康問題に対して的確なマネジメントを提供することを目標とします。主たる研修の場は総合診療専門研修Ⅱとなります。
- 3年次修了時には、多疾患合併で診断や治療プロセスに困難さがあったり、患者を取巻く背景も疾患に影響したりしているような複雑な健康問題に対して的確にマネジメントを提供することができ、かつ指導することができることを目標とします。主たる研修の場は総合診療専門研修Ⅰとなります。
- また、総合診療専門医は日常遭遇する疾病と傷害等に対する適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を提供するだけでなく、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組むことが求められますので、18ヶ月の総合診療専門研修Ⅰ及びⅡにおいては、後に示す地域ケアの学びを重点的に展開することとなります。

②週間スケジュールの例

総合診療専門研修Ⅱ

		月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	朝カンファレンス・勉強会		○	○		○		
8:30-12:30	外来業務（検査等も含む）	○		○		○		
8:30-12:30	病棟業務（検査等も含む）		○		○			
13:30-16:30	病棟業務（検査等も含む）	○	○	○	○	○		
16:30-17:00	症例カンファレンス	○	○	○	○	○		
17:00-18:00	総回診				○			

平日宿直を1-2回/月、土日の日当直を1-2回/月

金曜午後のTVカンファレンスを2回/月、TV経験省察研修録勉強会を1回/月

問い合わせ先

担当者 総務課長 渡部 利和

TEL 025-552-0280

FAX 025-552-3819

E-mail somukacho@itoigawa-hp.jp

ホームページ <http://www.itoigawa-hp.jp/info/detail.php?id=487>